

## 知多半島周辺におけるウミガメ類産卵状況及び死亡漂着情報

### 《産卵》

2013年の知多半島周辺におけるアカウミガメの産卵は2例でした(図-1)。ここ数年の記録と比較すると、やや少ない発見数となりました。

2013年の特徴としては、まず昨年と同様に奥田海岸での産卵が確認され、2008年以降6年連続の産卵となりました(写真-1)。当園が調査を開始して以降、知多半島では70例の産卵が確認されていますが、その内の21例が奥田海岸での産卵であり、奥田海岸が産卵場としてアカウミガメに好まれていることが伺えます。



〔図-1〕 産卵地点

また、常滑市蒲池海岸では5年ぶりに産卵が確認されました(写真-2)。蒲池海岸は常滑市の北部に位置しており、これまでに4例の産卵が確認されています。



〔写真-1〕 上陸・産卵跡(奥田海岸)



〔写真-2〕 上陸・産卵跡(奥田海岸)

この2件とは別に、中部国際空港に程近い常滑市のりんくうビーチでは、夕方の明るいうちに母ガメが上陸しているところを確認されました(写真-3)。残念ながら産卵には至りませんでしたが、四肢に個体識別用の標識を装着することができましたので、知多半島に産卵のためやってきた野生のアカウミガメが今後、どのような動きをしていくのかを知る重要な手掛かりとなるはずです(写真-4)。



〔写真-3〕 産卵姿勢(りんくうビーチ)



〔写真-4〕 標識の装着(りんくうビーチ)

## 《死亡漂着》

残念ながら死亡漂着は4例あり、種類はアカウミガメが3例とアオウミガメが1例でした(図-2)(写真-5～8)。死因は不明ですが、アカウミガメの2個体は成体の雌、その他の2個体は亜成体と思われるものでした。繁殖に関与している、あるいはあと数年のうちに関与するであろう個体の死亡は、個体群に与える影響が大きいと考えられます。



〔図-2〕 死亡漂着発見場所



〔写真5〕 北方海岸



〔写真6〕 お吉ヶ浜



〔写真7〕 中洲海海岸



〔写真8〕 奥田海岸

産卵や死体漂着の発見は、ほとんどが一般の方による情報です。今後も、記録を残していくために皆さんからいただく情報がとても重要です。産卵はもとより、足跡を見つけたり、死体が打ちあがっていた場合でも是非、南知多ビーチランドまでご連絡ください。ただし、申し訳ありませんがお寄せいただく情報は、知多半島周辺に限らせていただきます。(伊藤幸太郎)